

平成29年度 基本事業評価シート（平成28年度実績評価）

政策 02 健やかに暮らせるまち
施策 05 地域福祉の推進
基本事業 03 社会福祉協議会との連携
主管課： 社会福祉課
関係課：

1 基本事業の目的

対象（誰、何を対象としているか） 社会福祉協議会、支部社協	意図（どのような状態にしたいのか） 社会福祉協議会が地域福祉推進の核として機能するよう連携強化する。 また、地域福祉活動計画が実践できるよう支援する。
----------------------------------	---

2 基本事業の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

社会福祉協議会が地域福祉の核として機能していると思う市民の割合 (%) 社会福祉課					
基準値 (H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H33)
25.40	23.90	24.30	26.00	28.00	30.00
向上指針	上がると良い	(状況) 前年度と比較して、数値が0.4ポイント増加（統計誤差の範囲）しています。 (原因) 社会福祉協議会への加入世帯は54.8%であり、社会福祉協議会が地域福祉の核として機能していると思う市民の割合は、昨年度より若干向上しているが、24.3%と低い数値となっています。この要因としては、社会福祉協議会の生活弱者に対する支援活動や地域福祉活動計画に基づくPRが不足していることが考えられます。今後は新たにスタートした第2期地域福祉活動計画のPRと併せて周知・啓発活動に注力していくことが考えられます。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

社会福祉協議会への加入世帯率 (%) 社会福祉課					
基準値 (H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H33)
57.00	56.60	54.80	56.00	58.00	65.00
向上指針	上がると良い	(状況) 前年度と比較して、数値が1.8ポイント低下しています。 (原因) 社会福祉協議会が地域福祉の核として機能していると思う市民の割合が低いことと、人と人とのつながりが希薄化している社会環境の変化が要因と考えられます。			
対前年度	低下				
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

基準値 (H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H33)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

基準値 (H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H33)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

3 基本事業に係るコスト（単位：千円）

	H26年度 決 算	H27年度 決 算	H28年度 決 算	H29年度 予 算	H30年度 見 込
事業費合計	36,772	42,454	44,523	52,700	52,700
人件費	0	0	53	0	0
トータルコスト	36,772	42,454	44,576	52,700	52,700

4 基本事業の推進状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

社会福祉協議会が地域福祉の核として機能していると思う市民の割合は24.3%となっています。社会福祉協議会の各支部で実施される地域福祉活動計画の取組については、地区別実行委員会が主体的に活動に取り組めるように地域福祉活動助成制度を導入し活動資金の支援を行っています。今後は、これらの地区活動を含めて、社会福祉協議会の活動や生活弱者への支援等の役割を知っていただくPR活動の重要性が高いと考えられます。	推進状況	不調
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持

5 基本事業を構成する事務事業の評価

[illegible]